

5 年齢別常用求人・求職・就職状況

常用（含パート）

28年10月

	新規求人数		月間有効求人数		新規求職 申込件数	月間有効 求職者数	就職件数	新規求人倍率		有効求人倍率	
	就職機会	求人数均等	就職機会	求人数均等				就職機会	求人数均等	就職機会	求人数均等
	積み上げ方式	配分方式	積み上げ方式	配分方式				積み上げ方式	配分方式	積み上げ方式	配分方式
年齢計	66,550	66,550	187,328	187,328	32,427	142,924	9,370	2.05	2.05	1.31	1.31
19歳以下	1,014	6,932	3,158	19,329	436	2,109	135	2.33	15.90	1.50	9.17
20～24歳	6,943	7,739	18,228	21,552	3,042	12,294	749	2.28	2.54	1.48	1.75
25～29歳	9,784	7,651	27,344	21,349	4,242	18,307	1,023	2.31	1.80	1.49	1.17
30～34歳	8,041	7,244	23,361	20,323	3,487	15,774	883	2.31	2.08	1.48	1.29
35～39歳	6,644	6,327	19,648	17,874	3,093	14,108	870	2.15	2.05	1.39	1.27
40～44歳	7,352	5,771	21,087	16,356	3,770	16,812	1,259	1.95	1.53	1.25	0.97
45～49歳	6,741	5,434	19,503	15,423	3,756	16,823	1,249	1.79	1.45	1.16	0.92
50～54歳	5,387	5,365	15,575	15,224	3,052	13,619	981	1.77	1.76	1.14	1.12
55～59歳	4,329	5,357	13,156	15,205	2,312	11,068	798	1.87	2.32	1.19	1.37
60～64歳	4,395	4,609	13,394	13,083	2,321	11,373	791	1.89	1.99	1.18	1.15
65歳以上	5,920	4,121	12,874	11,610	2,916	10,637	632	2.03	1.41	1.21	1.09

年齢計	66,550	66,550	187,328	187,328	32,427	142,924	9,370	2.05	2.05	1.31	1.31
24歳以下	7,957	14,671	21,386	40,881	3,478	14,403	884	2.29	4.22	1.48	2.84
25～34歳	17,825	14,895	50,705	41,672	7,729	34,081	1,906	2.31	1.93	1.49	1.22
35～44歳	13,996	12,098	40,735	34,230	6,863	30,920	2,129	2.04	1.76	1.32	1.11
45～54歳	12,128	10,799	35,078	30,647	6,808	30,442	2,230	1.78	1.59	1.15	1.01
55歳以上	14,644	14,087	39,424	39,898	7,549	33,078	2,221	1.94	1.87	1.19	1.21

年齢計	66,550	66,550	187,328	187,328	32,427	142,924	9,370	2.05	2.05	1.31	1.31
44歳以下	39,778	41,664	112,826	116,783	18,070	79,404	4,919	2.20	2.31	1.42	1.47
45歳以上	26,772	24,886	74,502	70,545	14,357	63,520	4,451	1.86	1.73	1.17	1.11

（注） 年齢別の求人倍率及び求人数は、次の2つの方法により集計を行っている。

「就職機会積み上げ方式」

個々の求人について、求人数を対象となる年齢階級〔5歳刻みの11階級〕の総月間有効求職者数で除して当該求人に係る求職者1人当たりの就職機会を算定し、全有効求人についてこの就職機会を足し上げることにより、年齢別有効求人倍率を算出する。年齢別月間有効求職者数は、年齢別有効求人倍率に年齢別月間有効求職者数を乗じて算出する。なお、新規求人倍率及び新規求人数も同様の方法により算出する。（この際、月間有効求職者数の代わりに、新規求職申込件数を用いる。）

平成18年7月分より公表。

「求人数均等配分方式」

求人の対象年齢の種類（対象年齢がどの年齢階級〔5歳刻みの11階級〕にまたがるかにより66通りに分類）ごとに、求人数を対象年齢に相当する各年齢階級に均等に配分して、年齢別の月間有効求職者数を算出し、これを年齢別の月間有効求職者数で除して、年齢別有効求人倍率を算出する。新規求人倍率及び新規求人数についても同様の方法により算出する。